

芦別市地域公共交通会議

平成23年11月11日設置



概要

芦別市では、乗合バス(路線バス)が通勤、通学、買物、通院など地域に密着した生活交通路線として重要な役割を果たしてきたが、マイカーの普及や過疎化・少子高齢化の進展により利用者の減少を招き、バス事業者の経営は厳しさを増し、生活交通路線として期待される社会的役割を採算性に制約される取り組みだけで果たしていくことは非常に困難となっている。

本交通会議は、将来に向かって市民の実情に応じた輸送サービスの実現と本市にふさわしい交通体系を構築するため、地域住民、関係団体等と連携して官民一体で議論及び協議を行い、持続可能な生活交通路線を維持確保していくために設立された。

○地域公共交通の現況

- ・JR根室本線(芦別駅、上芦別駅、野花南駅)
- ・空知交通(株)(市内3路線)
- ・北海道中央バス(株)(郊外3路線)
- ・スクールバス(5路線)

○地域公共交通の課題

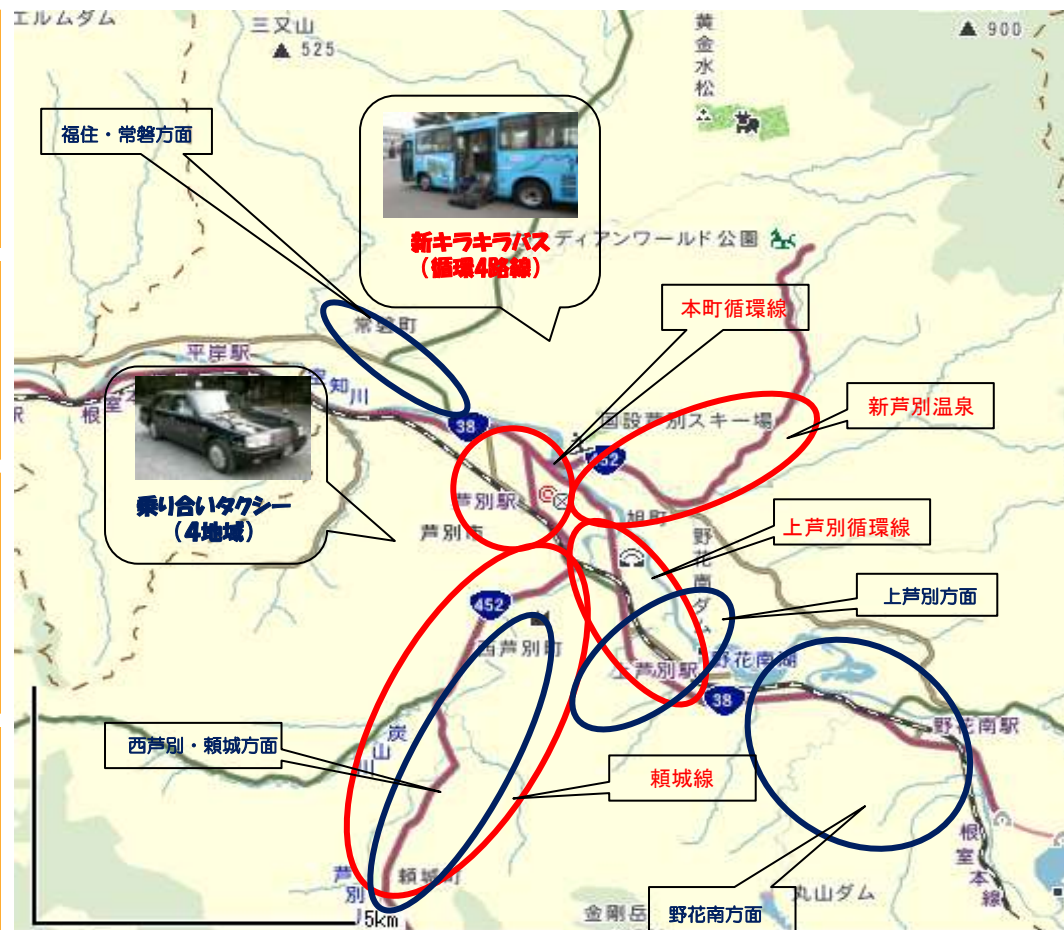
- ・高齢化の進展による交通弱者の増加に対応できない交通体系
- ・公共交通空白地域の解消
- ・バス路線維持のための負担増加

○調査の主な内容

- ・循環バス・乗合タクシーの短期実証調査
- ・利用者アンケート及び乗降調査
- ・モビリティ・マネジメント
- ・地域公共交通ネットワーク計画素案検討

○芦別市地域公共交通会議開催状況

- | | | |
|--------|----------|---------------------|
| 6月 1日 | 第1回会議を開催 | 公共交通の問題、課題及び検討の方向性 |
| 9月 12日 | 第2回会議を開催 | 短期実証調査実施計画 |
| 2月 1日 | 第3回会議を開催 | 短期実証調査報告、本格運行の方向性検討 |
| 3月 26日 | 第4回会議を開催 | 本格運行に向けた路線及び運行形態 |



●調査事業の結果概要

- ・公共交通空白地域の解消など課題解決に向け、循環バス、乗合タクシーの短期実証調査(1ヶ月間)を実施した
- ・利用者アンケート及び乗降調査を実施し、利用状況、問題点、要望などの抽出を行った
- ・事業所職員向けの啓発チラシ及びパンフレットを作成し、マイカー依存の意識改革と公共交通利用者の掘り起こしを行った
- ・持続可能な公共交通の実現を図るため、運行系統、運行形態の検討を行った

●調査事業実施の適切性

各事業内容を実施し、今後の計画策定につながる調査となった
 短期実証調査前に各地域で説明会を実施し、利用者ニーズの把握に努めたほか、利用実績及びアンケート調査結果について、住民への情報提供を行った

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

本調査事業の結果をもとに、地域の要望と利用実態、市の財政負担軽減に配慮した交通体系を構築するため、平成25年度に地域公共交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統及び減価償却費)を策定予定
 地域内フィーダー系統の補助申請を行い、平成25年10月から新規路線による循環バス(4路線)を運行予定
 また、循環バスの利用状況を検証し、効果的と判断される地域や時間帯においては、平成26年10月以降、乗合タクシーについても運行を予定したい。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点について、アドバイスする。

- ・循環バスの導入及び乗合タクシーの検討に当たっては、既存の路線バスとの役割分担や乗継円滑化、町内全体の交通体系のあり方にも留意されたい。特に、導入予定の循環バスと乗合タクシーが競合する地域については、共倒れすることの無いよう、地域のニーズを踏まえつつ、本当に両方導入することが必要かどうか精査されたい。
- ・将来的な持続可能性にも配慮した運賃及び広告収入のあり方並びにそれらを踏まえた自治体及び事業者等との間の費用分担のあり方についても検討されたい。